

平成27年度 第6回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 平成28年1月12日(火) 14:00~16:00
- 2 開催場所 小平市中央公民館 会議室
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 12名  
事務局 中央公民館長、館長補佐兼事業担当係長、管理担当係長、  
分館担当係長 9名
- 4 傍聴者 なし
- 5 配布資料 (1) 平成27年度公民館定期講座実施状況・・・・・・・・・・資料1  
(2) 東京都公民館連絡協議会 職員部会・・・・・・・・・・資料2  
(3) 東京都公民館連絡協議会 委員部会・・・・・・・・・・資料3  
(4) 平成28年度公民館事業計画(案)・・・・・・・・・・資料4  
(5) 当日利用件数、Wi-Fi利用件数・・・・・・・・・・資料5  
(6) 平成27年度第5回小平市公民館運営審議会会議要録・・・・資料6
- 6 次第 (1) 館長報告  
(2) 平成27年度 公民館定期講座実施状況について  
(3) 平成27年度 東京都公民館連絡協議会 職員部会・委員部会報告に  
ついて  
(4) 平成28年度公民館事業計画(案)について  
(5) 学習活動を通じて、地域づくりに貢献する公民館の今後の取組につ  
いて(答申)  
(6) その他

## 会議の概要

### 1 館長報告

#### (1) 仲町公民館の修繕等について

- ・学習室1について、音が反響して聞き取りにくい状況にあったが、吸音ボードを壁に設置する修繕を実施し、音の反響は改善された。
- ・学習室2について、陶芸作品等を保管する棚を1月21日に設置する予定である。
- ・地下について、携帯電話がつながりにくい状況だったが、新たにアンテナを設置することにより、つながりにくさは解消された。
- ・学習室2・3の鍵の開閉について、利用者に確認した上で、職員が対応することとした。

#### (質疑応答)

委員 なかまちテラスに標識がないので、わかりにくいと利用者から言われている。青梅街道駅や青梅街道に案内標識を設置することになっているが、どうなっているか。

館長 標識については図書館の予算で、今年度中に青梅街道駅に設置予定である。

委員 なかまちテラスの建物前の看板についてはどうなっているか。

分館長 まだ、協議中ではあるが、なかまちテラスLINKSでいろいろな意見が出ている。誰が見てもわかるようなシンプルな看板を考えている。

### 2 平成27年度 公民館定期講座実施状況について

事務局より資料1について説明した。

#### (質疑応答)

委員 花小金井北公民館の夜間講座は子どもが申込みをしているのか。

分館長 夜間講座は成人対象の講座であるので、子どもが参加したい場合は保護者同伴を前提としている。

委員 今年度の市民学習奨励学級について報告してほしい。

事務局 講座型5団体、講演会型5団体の募集をしたところ、講座型9団体、講演会型3団体の応募があった。選考の結果、講座型5団体、講演会型3団体を決定した。講演会型の残り2団体分を11月に追加募集したところ、2団体の応募があり、すべて決定した。

3 平成27年度 東京都公民館連絡協議会 職員部会・委員部会報告について  
事務局、委員より、資料2及び3について説明した。

4 平成28年度 公民館事業計画（案）について  
事務局より資料4-1・4-2について説明した。  
アンダーライン部分に変更箇所となっている。施設整備については現時点では不確定であるため、3月に示す予定である。

（質疑応答）

委員 ジュニア大学やジュニア科学研究室の対象年齢について教えてほしい。

事務局 ジュニア大学は小学校4年生から6年生、ジュニア科学研究室は小学校1年生から3年生と小学校4年生から中学生の2コースを予定している。

委員 ジュニア科学研究室の対象年齢のコースについて、2コースあるとのことだが、もっと細かくした方がよいのではないか。また、講師陣や企画はどこで、どなたを予定しているのか。

事務局 ジュニア科学研究室のコースの詳細については今後検討したい。また、講師については、友・遊科学研究室の講師に引き続き依頼する予定である。

委員 科学でも4分野あり、かなり幅があるので、他のいろいろな人を入れて検討すべきだと思う。

委員 平成28年度公民館事業計画案の中では、①コミュニティづくり②地域課題の解決③人材を育てることを目標としているが、目標に向けた具体的な事業のイメージを教えてほしい。

事務局 28年度は、コミュニティづくりとネットワークづくりなどが重要と考えてい

るため、推進事項の4で示しているとおり、全館で地域連携講座を実施する。

委員 公民館まつりはコミュニティづくりに繋がるが、鈴木公民館のサークル体験などを他館でも実施して、新しい利用者の獲得を目指す。小川公民館の地産地消の講座は、農家に関するプログラムを取り入れて、地域課題を考える講座にする。地域連携講座は、地域の方々が講師をすることによって人材を育成する。目標に則した形で効果的に事業を実施する際には、このように工夫が必要になると思う。その辺りをもっと中央と分館で戦略的に考えると、これまで以上の波及効果が期待できるのではないか。

委員 夏休み学習支援者養成講座の結果はどう反映したのか。

事務局 講座修了者がボランティアとして、8月に毎週1回計4回、小学生の学習支援を行った。また、土曜子ども広場友・遊に学習支援室を設置して毎月1回、小学生に学習支援を行っている。来年度については、もう少し工夫をしていきたい。

委員 児童福祉の観点から、問題を抱えた家庭の子どもたちにも対応できる学習支援教室のようなものを将来的に公民館にも作ってほしい。

委員 小川西町公民館の体験農園のような地縁型の講座であれば、コミュニティが広がると思っていたが、28年度はないので検討していただきたい。

事務局 小川西町公民館の講座は好評だったが、3年経つので別の視点で考えていく必要があるため今回は予定していない。

委員 体験農園は市内に6か所ある。好評であるなら、他の分館にどうして広がらないのか。他の分館でも実施してほしい。

事務局 野菜づくりは講師の方の都合もあるが、好評な講座であるため、今後できるだけ実施する方向で検討していきたい。

委員 定期講座一覧表について、市民講座にサークル支援とあるが、どういう意味か。

事務局 地域連携講座の一環として実施するが、サークルの活発化を狙いとして、サークルの方が講師となって、サークル活動を紹介する。サークルの入会者が増えることにより、それが地域との連携につながる。

- 委員 サークルが1つの資源となって地域と連携して学びの場を作ることとなる講座であれば、サークル支援ではなくサークル活用が適当であると思う。
- 委員 高齢者対象のシニア講座について、体を鍛えるものがあるが、10回の連続講座であれば、その中でメイクアップやカラーコーディネートなど内面からもシニア世代がいきいきできるものを数回取り入れてもらいたい。団塊の世代に公民館を利用してもらうことにつながるのではないか。
- 事務局 講座の内容については、体を動かすだけでなく、それ以外の内容を取り入れて実施した方がよいとのご意見を参考にし、各分館で工夫して実施していきたい。
- 委員 事業企画委員会について、平成27年度は鈴木公民館、平成28年度は小川公民館がモデル館として検証していくとあるが、いつごろ全館で達成できるのか。なかまちテラスはLINKSとの関係があるので、事業企画委員会を早めに設置しないといけないのではないか。
- 事務局 平成28年度3館、平成29年度に残り全館で実施していく予定である。仲町公民館については、LINKSがあるので公民館が事業企画委員会を設置するよりも、LINKSと一緒に活動する機会を探っている。
- 委員 なぜ、このように数年かかるプランとなったか。
- 事務局 小平市では初めて実施することなので、モデル館を設置していろいろなことを検証しながら進めなければならない。良い点は取り入れ悪い点は修正などを検証していかなければならないため、期間が必要となる。
- 委員 推進事項から地域防災の記載が無いのはなぜか。
- 事務局 地域防災は地域課題の一部としたため、推進事項には載せていないが実施しない訳ではない。
- 委員 ぜひ推進事項に地域防災を記載してほしい。
- 委員 今年度のことではあるが、花小金井北公民館の夜間講座で保護者が一緒であれ

ば子どもの参加が可能というのはいいと思う。親子や祖父母と孫で参加できるような企画が他館でも実施されることを期待する。公民館の講座は、従来から要望を受けて開催することが多かったが、これからは新しい企画をお願いしたい。鈴木町では人口も増えるので、公民館を大いにアピールしてほしい。

事務局 検討課題とする。

委員 ジュニア大学・ジュニア科学研究室に参加する子どもの保険加入はあるか。

事務局 特別の保険はない。公民館の事業については、市役所の全国市長会市民総合賠償保険で対応することになる。

委員 科学実験で火傷や、薬品などで怪我などは考えていないのか。

事務局 薬品を扱うことは想定していない。危険のないようなメニューを予定している。

委員 鈴木公民館は、まつりを見てもわかるように市民が能動的に参加している。このようなことから、鈴木公民館を事業企画委員会のモデル館としたと思うが、このサンプル例を検証して、他の分館にどのように反映しようとしているのか。

事務局 月1回の分館担当係長会議での検討や鈴木公民館で実施している事業企画委員会への他の分館担当係長の出席など、全館で情報を共有し反映していく。

委員 鈴木公民館の事業と目標との関連はどうなっているのか。

分館長 全体をとおして今まで以上に多くの世代の方に来ていただいて鈴木公民館を拠点として、地域のなかの世代間交流を推進する環境づくりを目指している。

委員 地域課題についての事業が足りないように思う。市では高齢者、子育て、まちづくりなど担当部署があるが、総合的に学ぶ場は公民館になる。館長から企画委員会に投げかけることで地域課題と結びついた案も出てくるのではないかとと思う。今後、進めていくうえで必要ではないか。

分館長 モデル館ということで私見は出さず、なるべく委員に任せたい。今後は、安心・安全・防災・防犯等の意識が地域に広がり、ネットワークが形成されることを目指していきたい。次年度以降は、キーワードとして提案していきたい。

委 員 鈴木公民館は、シニアや家庭教育というような枠組みを外したことで、講座自体が目標や推進事項から外れたり、予算が削られたようなことはないのか。

分館長 講座の予算は削られていない。来年度の事業については案の通り進めていくが、今後、推進事項に沿うような微調整をする予定である。

委 員 改めて思うが、シニア講座や家庭教育などの枠組みは必要ではないか。事業企画委員会を各館に広めていく際には、その辺りを職員がコントロールしていく必要があるのではないか。

事務局 鈴木公民館では枠組みを外して実施した。次の小川公民館では、ある程度の枠組みを残しながら行うのか、現時点では明確な回答はできないが、今後検証していく。

委 員 たとえば、子育てをしていない人が委員となった場合、保育付き講座がなくなるという懸念がある。

事務局 標準的な地域資源の7つのつながりの中に、子育て中を対象として活動されている方も含まれているため、保育付き講座がなくなることはないと考えている。

委 員 各館で枠組みを取ってもよいとは思いますが、そもそも、シニア、家庭教育、市民講座、サタデー、夜間などの枠が何のためにあるのか把握し、目的を忘れないで事業を展開してほしい。

会 長 要望として広報活動について、27年度と同じ内容なので、新しい取り組みについて記載してほしい。また、保育室の開設援助について、子どもたちの豊かな育ちにつながる運営をしてほしい。最後に、なかまちテラスはLINKSと事業企画委員会との関連で具体的に進められるように考えてほしい。

5 学習活動を通じて、地域づくりに貢献する公民館の今後の取組について（答申）  
会長から提出、説明した。

6 その他  
事務局より

（1）公民館保育の衛生管理について。

公民館の保育に携わっている臨時職員全員 53 名に文書を送付した。

(2) 公民館まつり

中央公民館で行う第 28 回小平市公民館まつりの日程は 3 月 2 日(水)から 3 月 6 日(日)のギャラリー展示、5 日・6 日が舞台発表となる。5 日の講演会については「睡眠と健康」をテーマに国立精神・神経医療研究センターの研究者の方に講演していただく予定である。また、昨年度同様、学習成果発表展を同時開催する予定である。

第 15 回大沼公民館まつりは 1 月 16 日・17 日に開催する。昨年 7 月に大沼公民館にも利用者懇談会が設立されたことにより、まつり実行委員会と利用者懇談会との共催で実施する。

(3) 当日空き部屋利用と Wi-Fi 利用状況

資料 5 について説明した。

(4) 自主公民館運営審議会

2 月 9 日は教育委員との懇談で、14 時から約 1 時間の予定である。

(5) 次期公民館運営審議会委員の公募について

2 月 5 日号の市報こだいらにおいて委員の公募の募集を行う。

次回は、3 月 15 日(火)午後 2 時より、中央公民館会議室にて開催する。